

- 第31回未来投資会議(令和元年10月3日) 資料1「デジタル市場のルール整備と将来の規制の精緻化」について議論対象となり得る項目案(抜粋)  
第34回未来投資会議(令和元年12月19日) 「新たな成長戦略実行計画策定に関する中間報告」  
第35回未来投資会議(令和2年2月7日) 資料1「新たな成長戦略実行計画策定に向けた今後の進め方のたたき台」にも同趣旨の記載

デジタル技術の社会実装を踏まえた規制の精緻化については、中長期的な観点から、以下の分野を中心に実証事業を実施し、将来の規制等の在り方に係る問題点や課題を洗い出す。

## 1. モビリティ分野

自動車のソフトウェア化やコネクテッド化が進む中、モビリティ分野における将来の規制等の在り方に係る問題点や課題を洗い出す。

### ①AIを活用した完成検査の精緻化・合理化

- AI等を活用して、工場等の常時監視を行うことにより完成検査の合理化が可能か検討する。併せて、自動車メーカーに対して行っている型式指定監査につき、AI等を活用した常時監視の活用が可能かも検討する。

### ②無人自動運転車における運行時に取得するデータの活用

- その他、型式認証審査の合理化が可能か検討する。

## 2. フィンテック／金融分野

個人・企業の能力や資産状況等がデジタル化により個別に判断できるようになってくる中で、金融関連法制の将来の在り方に係る問題点や課題を洗い出す。

### ①プロ投資家対応

- 顧客の取引履歴データ等の分析・活用を進めることで、プロ投資家として扱うことが可能な個人を特定できないか検討する。

### ②金融商品販売における高齢顧客対応

- 高齢者の取引履歴データ等の分析・活用を進めることで、高齢者の能力や状況に応じた高齢顧客対応の判断ができないかを検討する。

### ③マネー・ロンダリング対策

- 各金融機関が個別に取り組んでいた、マネー・ロンダリングに関係する、顧客リスク評価、制裁対象者との照合、異常取引や制裁対象取引の検知といった業務については、AIを活用し、各社が共同で取り組むことで効率化できないか検討する。

## 3. 建築分野

センサー精度の向上、AIによるビッグデータ分析、ドローン活用などが進む中、これらの技術の活用により、より精緻かつ合理的な建築物の安全性確保が可能か等を検証するべく、建築に関する制度(建築基準法等)の将来の在り方に係る問題点や課題を洗い出す。

### ①建築物の外壁の定期調査

- 建築基準法に基づく建築物の外壁の調査について、赤外線装置を搭載したドローンによる調査を将来位置づけることができないか検討する。

### ②エレベーターの定期検査

- 建築基準法に基づくエレベーターのロープ等の劣化状況の検査について、目視や寸法測定と同等の検査方法として、センサーによる検査を将来位置づけることができないか検討する。

# 規制の精緻化に向けたデジタル技術の開発事業費

令和元年度補正予算額 **28.3億円**

経済産業政策局  
産業創造課 新規事業創造推進室

## 事業の内容

### 事業目的・概要

- AIやセンシング技術等、デジタル技術が進歩する中、これらを活用した事業活動を念頭に規制の見直しを進めることで、既存の事業の合理化や新事業の創出を進めることが重要です。
- 例えば、モビリティ分野では、自動車のソフトウェア化やコネクテッド化が進む中、モビリティ分野における将来の規制等の在り方に係る問題点や課題を洗い出すことが必要です。
- フィンテック/金融分野については、個人・企業の能力や資産状況等がデジタル化により個別に判断できるようになってくる中で、金融関連法制の将来の在り方に係る問題点や課題を検討することが重要です。
- 建築分野については、センサー精度の向上、ドローン活用などが進む中、これらの技術の活用により、より精緻かつ合理的な建築物の安全性確保が可能か等を検証するべく、建築に関する制度（建築基準法等）の将来の在り方に係る問題点や課題を検討する必要があります。
- 本事業では、これら3分野において、AI等のデジタル技術の研究開発等を通じた規制の精緻化を図るため、右に記載の事業を実施します。

### 成果目標

- 各事業の結果を踏まえて、それぞれの分野における規制の精緻化を検討します。

### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



## 事業イメージ

### (1) モビリティ分野

- ① **AIを活用した自動車の完成検査の精緻化・合理化に係る技術開発**  
自動車の完成検査や型式指定監査を合理化するため、AIを活用した常時監視手法の開発等を実施。
- ② **無人自動運転車における運行時に取得するデータの活用と安全性評価のための基礎システムの技術開発**  
将来的な無人自動運転車に関する合理的な型式認証制度のあり方の検討に向けて、走行データの収集・分析を行うとともに、無人自動運転車の安全性評価のためのシステムの開発等を実施。

### (2) フィンテック/金融分野

- ① **プロ投資家対応・金融商品販売における高齢顧客対応に係る開発**  
プロ投資家や金融商品販売における高齢投資家の要件について、データを活用することで基準を導き出すためのアルゴリズムを開発し、画一的な要件（資産要件や年齢要件）の柔軟化を検討。
- ② **マネー・ロンダリング対策に係るシステム開発**  
各金融機関が個別に取り組む、マネー・ロンダリングに係る顧客リスク評価、制裁対象取引の検知といった業務につき、各社共同で取り組むことでの効率化を検討するため、AIを活用したシステムの開発等を実施。

### (3) 建築分野

- ① **ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発**  
建物外壁の調査につき、赤外線装置搭載のドローン等による調査手法を開発し、現状の打診等の検査と同等のものと位置付けられるか検討。
- ② **高精度センサーを用いたエレベーターの定期検査に係る技術開発**  
エレベーターのロープの劣化状況の検査につき、高精度センサーによる検査手法を開発し、現状の目視検査等と同等と位置付けられるか検討。